

投稿

世界天文年にみんなで作る成果物を！

～フォトモザイクポスターを作ってみた～

三島和久（倉敷科学センター）

1. ことのはじまり

世界天文年にはさまざまなイベントが行われましたが、その集大成として記念になる何かを残せないか？できればみんなで参加できて、できあがった後には広く還元できるものがない！

そんな想いで、世界天文年企画「めざせ1000万人！みんなで星を見よう！」[1]では、フォトモザイクポスターを作ることにしました。フォトモザイクとはたくさんの写真を巧みに並べて一つの画像を表現するものです。

2. 作り方のコツ

モザイク画の生成は、Win・Macをいろいろ比較した結果、知人に紹介いただいた「MacOSaiX (MacOSX 用)」というフリーソフトを選択することになりました（図1）。

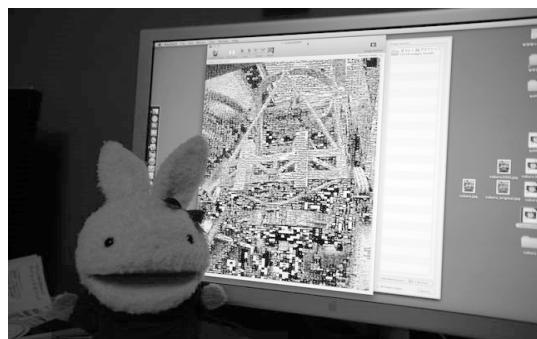


図1 MacOSaiX 画面

数千枚の画像を用意すれば、数時間程度でPCが勝手にモザイク画を生成してくれる訳ですが、きれいなモザイク画に仕上げるためには下絵のチョイスは重要です。

- 1) コントラストが高く
- 2) 色彩豊かで
- 3) 被写体の輪郭がはっきりしている

こうしたポイントを押さえた下絵を用いれば、格好いいモザイク画を作るのは容易です。みなさんも気軽に挑戦なさってみてください。

3. 下絵はガリレオとすばる望遠鏡

全国から天文に関わる施設や個人、イベントなどを幅広くご提供いただき、世界天文年の象徴でもあるガリレオの肖像画を彩るというのが今回のコンセプトです。

株式会社リブラ・高部さんのご厚意で、美しいガリレオのイラストの利用が叶った一方、日本らしい画の代表として、国立天文台よりすばる望遠鏡画像の利用も認めていただきました。

4. 実際の製作は10日間で

夏ごろからPRを始め、期待を寄せていただいた方もいらっしゃったのですが、三島の個人的な事情でプロジェクトはその後、凍結状態に陥ってしまいました。三島自身に余裕が無く十分な釈明もできないまま、プロジェクトが長期間放置されましたこと、この場を借りてお詫び申し上げます。

個人的には完全に機を逃したと思っていたのですが、明石市立天文科学館・井上さんの「モザイクを進めましょう。グランドフィナーレに間に合うように…」という言葉きっかけに活動を再開。グランドフィナーレの2週間前のことでした。

メーリングリスト等での呼びかけと並行に、Webサイト[2]にて画像提供の要領を公開。かなりのドタバタ劇ではありましたが、プロジェクトは終盤で一気に動き出しました。

5. わずか 1 週間で画像が続々と 5710 枚

Web 上に試作版を公開できたのが功を奏してか、全国から画像は続々と寄せられてきました。とっておきの 1 枚を提供いただいた個人の方から、施設で撮りためた数百枚を豪快に提供いただいた方まで、その数は 80 を越えています。このような短時間で多くの方に賛同と協力をいただけましたこと、プロジェクトメンバー一同とてもありがたく感じています。

6. モザイク画から見えてくるもの

こうしてできあがった世界天文年フォトモザイクポスターは、神戸で開催されたグランドフィナーレの場で無事披露されました。

モザイク画の構成要素となっている一つの画像を見つめると、世界天文年を通してさまざまな活動を展開してきた施設や個人のみなさんの生き生きとした日常が見えてきます。

Web サイト[2]では、完成したポスターデータ（図 2,3）がダウンロードできるほか、モザイクを構成する各画像がポップアップで見やすくなる工夫もあります。ぜひ、じっくりご覧いただければと思います。

補 足

[1] 世界天文年 2009 日本委員会主催企画「めざせ 1000 万人！ みんなで星を見よう！」

<http://star2009.jp/>

[2] 世界天文年フォトモザイクポスター製作協力をお願い

<http://star2009.jp/mosaic/>

三島 和久



図 2 完成したモザイク画（すばる望遠鏡）

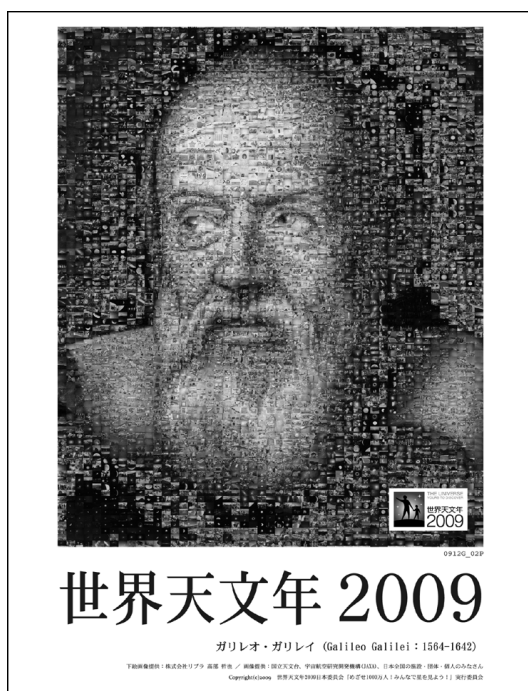


図 3 完成したモザイク画（ガリレオ）